



当科では、大分大学病院でしかできない多種多彩な疾患の先進医療やトランスレーショナルリサーチを積極的に推進し、患者・家族に還元できる新発見と画期的な新規診断・治療開発を積み上げ、治る喜び・治せる喜びを共有したいと考えている。

大分大学医学部神経内科： <http://www.med.oita-u.ac.jp/naika3>

主要研究テーマ

- アルツハイマー病の根本的治療法の開発を目指した最先端基礎・臨床研究

すでに A β オリゴマー抗体治療応用の前臨床試験を終え、日米の特許を取得している。

抗体のヒト化、治験薬 cGMP 製造、サルでの長期 GLP 毒性試験、IND (Investigational New Drug) 申請を終了し、ヒト臨床治験フェーズ I へ進みつつある。



神経内科学講座 初代教授

松原悦朗

(平成25年10月—)